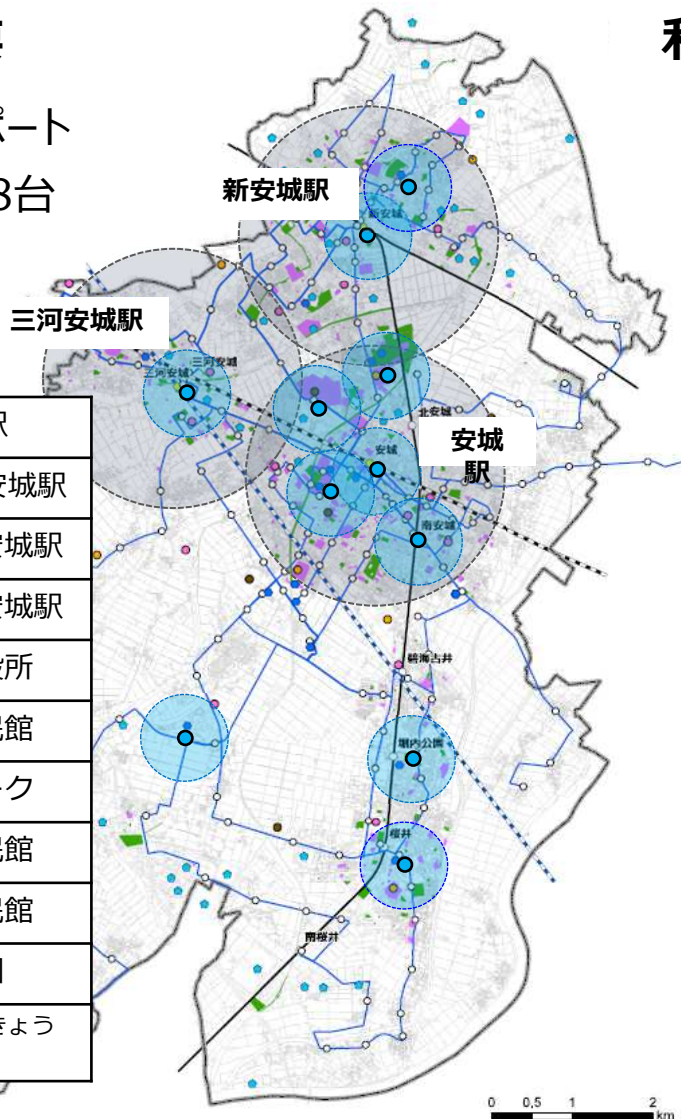


レンタサイクル事業の実績

事業概要

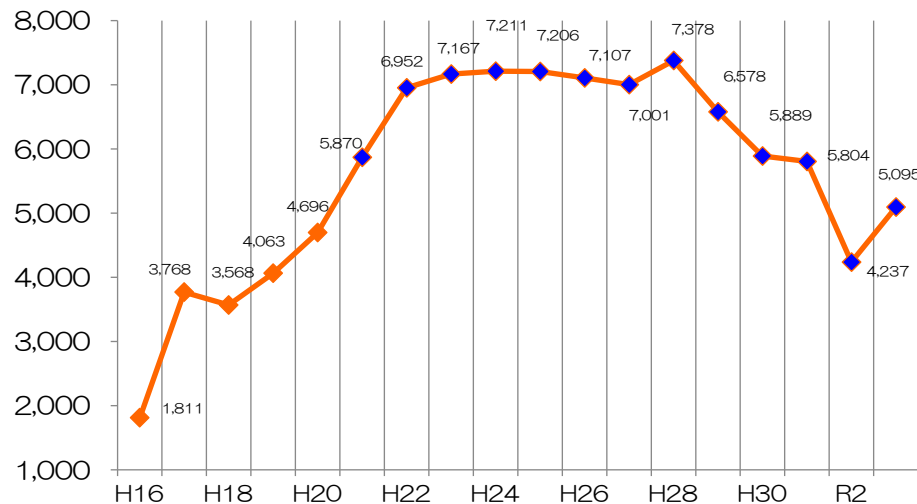
市内11ポート
自転車48台
無料

1	JR安城駅
2	JR三河安城駅
3	名鉄新安城駅
4	名鉄南安城駅
5	安城市役所
6	中部公民館
7	デンパーク
8	北部公民館
9	桜井公民館
10	堀内公園
11	水のかんきょう学習館

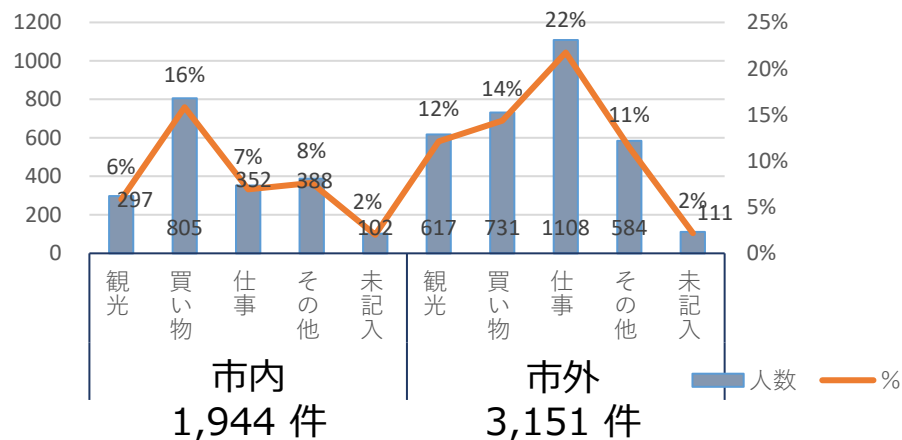


利用実績

これまでの利用件数推移 (H16~R3)



R3市内・市外／目的別利用



レンタサイクル事業の課題

①ランニングコストの増加

管理委託費：約**370万円**
土地使用料：約22万円
点検修理費：約28万円
リバランス：約71万円 **計491万円**

すべてのポートが有人管理。
管理を委託していた自転車預り所の
廃業によりポートを移設したことで
R3予算から約220万円増。今後も
民間駐輪場の人件費削減等により有
人管理が困難になるポートが増える
ことが予想される。

②車両の老朽化

48台中14台が放置自転車をレンタサイクルとして運用してから10年以上が経過

③利便性の低さ

- ・ポートごとに利用時間が異なる／利用できる時間が短い
- ・毎回申込書に記入
- ・借りたいときに自転車が無いことがある
- ・ポートの場所が分かりづらい



現在のレンタサイクル

利用者のニーズ・社会情勢（DX推進）に沿わないサービス
となっている。

⇒代替となる新たな自転車サービスが必要。

安城市自転車活用推進計画

基本目標 1

自転車交通の役割拡大に備えた良好な都市環境の形成

【関連する SDGs の目標】



施策① 自転車通行空間の計画的な整備の推進

施策② 放置自転車等の取締まりの推進

施策③ シェアサイクルの普及推進

施策④ 地域のニーズに応じた駐輪場の整備推進

施策⑤ まちづくりと連携した総合的な取組の実施

基本目標 2

自転車の利用促進による「健康」づくりの実現

【関連する SDGs の目標】



施策⑥ 自転車を活用した健康づくりの推進

施策⑦ 自転車通勤等の促進

基本目標 3

交通安全意識の向上等による安全で安心な社会の実現

【関連する SDGs の目標】



施策⑧ 自転車の点検整備の促進

施策⑨ 自転車の安全利用の促進

施策⑩ 学校における交通安全教育の推進

施策⑪ 災害における自転車活用の推進

施策⑫ 損害賠償責任保険等への加入促進

第1部 基本計画

さぐく はしる つかう
まもる とめる かわる

基本目標 1

施策③ シェアサイクルの普及推進

- 自転車利用における新たな仕組みであるシェアサイクルを導入することにより期待できる効果を見据え、民間事業者と連携、協力を図りながら、導入に向けた研究を進めていきます。

(担当：都市計画課)

【シェアサイクル導入により期待できる効果】

- ・市内のあらゆる箇所にサイクルポートを設置することにより、新たな交通手段として利便性を拡大することができ、公共交通機能を補完する役割を期待することができます。
- ・シェアサイクル事業は、24時間貸出返却が可能なため、運営時間の制約を設ける必要がなく、無人化で対応できるため管理運営費の削減ができ、レンタサイクル事業からのグレードアップを図ることができます。
- ・電動式といった高品質な自転車の提供が可能であるため、高齢者をはじめ誰もが気軽に安心して自転車を利用することが可能で、目的地までのプラス・ワンマイルの新たな移動手段として期待ができます。

参考事例：シェアサイクル事業「PULCLE（バルクル）」（静岡県静岡市）

静岡市内のまちなかに複数のサイクルポートを設置し、いつでも、どここのポートでも自転車の貸出・返却ができる新しい移動システムとして導入しています。

PULCLE の普及により、公共交通機関の補完や利用促進、自動車交通の抑制による環境負荷の軽減、自転車を所有から共有に切り替わることによる放置自転車の減少、まちなかの回遊性向上による地域活性化を目指しています。



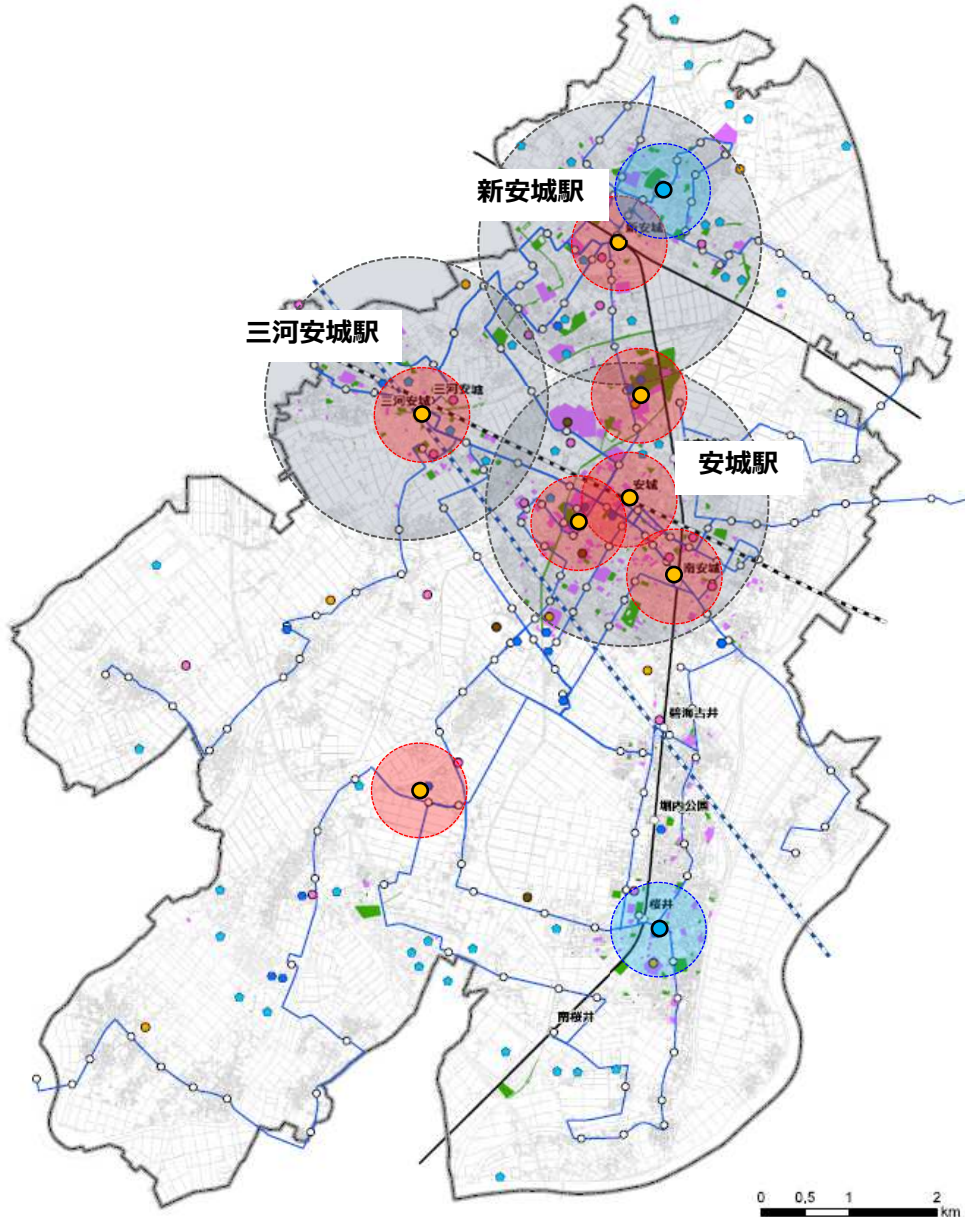
JR 静岡駅前 サイクルポート
(出典：静岡市)

シェアサイクル導入

ランニングコストの削減+サービス水準の高いシェアサイクルを導入。

	レンタサイクル	シェアサイクル
時間	ポートごとの利用時間内のみ	24時間貸出返却可能
料金	無料	有料 15分50円程度 キャッシュレス決済
車体	放置自転車を再利用した中古自転車 26~27インチのシティサイクル	電動アシスト付自転車
利用方法	<ul style="list-style-type: none"> 利用申込書の提出 身分証確認無し 予約不可 	<ul style="list-style-type: none"> スマートフォンアプリで事前登録 ⇒借りたい自転車の開錠⇒利用 予約可能
その他		<ul style="list-style-type: none"> 乗換案内アプリなどで検索可能 (DX化) 移動データを取得可能 災害時の予備電源として活用可能

シェアサイクルポート案



- ① 主要鉄道 3 駅 1.5km圏内の公共交通を補完
- ② 主要観光施設デンパークへの交通手段を確保

● シェアサイクルポート

	ポート
1	JR安城駅
2	JR三河安城駅
3	名鉄新名城駅
4	名鉄南名城駅
5	安城市役所
6	中部公民館
7	デンパーク

ポート 7 か所
自転車 33 台
ラック 60 個

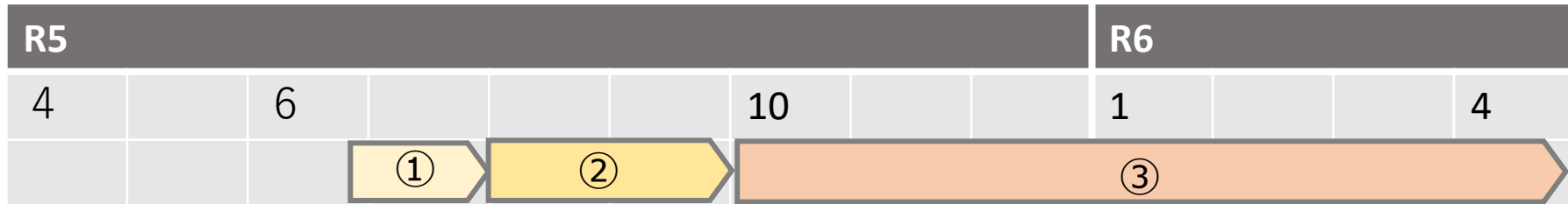
市内 7 か所にシェアサイクル
ポートを設置。

シェアサイクルポートの設置が
ない桜井北部地区の補完と
してレンタサイクルを継続。

● レンタサイクルポート

1	北部公民館
2	桜井公民館

事業開始までの流れ



- ①R5.6～ プロポーザル実施・契約締結
- ②R5.8～ 必要物品・システムの納入、自転車・ポートの設置
- ③R5.10頃 事業開始

	期待する提案内容
料金制度	多様な利用に配慮した料金制度を設けているか
利用者増の取組	効果的な広報活動などにより利用者が増えるような工夫があるか
安全対策	自転車ルール、マナー向上のための取組はあるか
独自提案	本市の特性を活かし、利便性向上もしくは魅力向上に資する提案がされているか。
	他導入自治体と連携した活用の提案がされているか
	収益性、実現性のある付帯事業の提案があるか